JR連合

基本理念
1. 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
2. 心とこころをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

JUSTICE

自らを変える!! 明日を創る!! イースト イノベーション

ジェイアール・イーストユニオン
発行者　菅野一位
編集者　教宣部
〒105-0021
東京都港区東新橋2-8-28
TEL(ＪＲ) 057-7333
TEL(NTT) 03-6452-9687
ホームページ検索
「ＪＲＥユニオン」

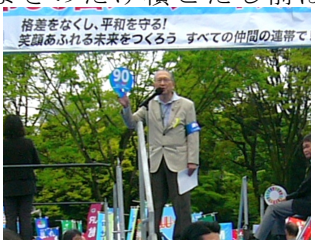
第90回 連合メーデー中央大会に3万7千人が集結！

労働者の祭典！仲間の結束を令和の時代につなげていこう！

連合は4月27日、「格差をなくし、平和を守る！」「笑顔あふれる未来をつくろう　すべての仲間の連帯で！」をスローガンに「第90回メーデー中央大会」を開催した。会場となった代々木公園には、加盟する産別組合、関係諸団体の約3万7千名が参加した。JR連合からは関東エリアを中心に多くの仲間が参集した。

団結の力で課題克服を！

主催者を代表して挨拶に立った神津里季生 連合会長は、冒頭、「令和の時代につなげていく記念すべき大会である。メーデーは日本では99年前にはじまったが、この間の積み上げてきた団結の力でさまざまな難題を乗り越えていこう。」と呼びかけるとともに、働き方改革を確実に進めていく必要性などを訴え、SDGs国連の持続可能な17の開発目標のゴール8にある、ディーセント・ワークの促進に向けて、あらためて労働条件の改善を進めていこうと訴えた。また、ゴール5にあるジェンダー平等についても触れ、日本が大きな後れを取っている問題として、あらゆるハラスメントの撲滅も含めて取り組んで行くとあった。



１９春闘については、多くの仲間が今まさに正念場の闘いを展開しているが、現時点の集計ではいわゆる中小の組合が今世紀最大の上げ巾、頑張りを見せているとの報告があった。また、7月の参議院議員選挙については、与党を利さない約束に基づいて、ようやく野党の力合わせが新しいステージとして、その兆しが見えてきた。選挙に向けて日本の民主主義を立て直す力につなげていこうと訴えた。

来賓として出席した根本匠厚生労働大臣および、小池百合子東京都知事の挨拶に続いては、外国人労働者代表の連帯の挨拶と、昨年、豪雨被害に遇われた岡山県の被災地代表からの挨拶などのあと、「国内外の関係団体と連携し、すべての仲間、すべての人が平和・人権を守り、笑顔あふれる未来に向けて、全力を挙げて取り組む」とした「メーデー宣言」を全体で採択した。最後は、松岡JR連合会長も一緒に登壇し「がんばろう三唱」を全員がスピーチ ルボードを高く掲げながら締めくくられた。

安全の継承を！ JR連合第3回安全対策委員会

４月25日、JR連合「第3回安全対策委員会」が大阪市内で開催された。また、委員会の後は、JR西労組主催の「事故を決して忘れず、安全を誓う集い」があわせて開催され、JREユニオンからはJR連合安全対策委員として、三瓶執行委員が出席した。集会終了後には安全対策委員会の代表メンバーらが、JR福知山線列車事故現場に整備された「祈りの杜」にて献花を捧げ、ご焼香を行った。

２００５年４月25日に発生した事故から14年となるこの日、委員会の冒頭、JR連合松岡会長からは「事故でお亡くなりになれた１０７名の方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族のみなさまへのお悔やみを申し上げ、また、お怪我をなされた方々の一日も早い回復をお祈り申し上げます。」との挨拶があった。事故を風化させず、安全を最優先に位置づけ、JR連合「安全指針」をもとに、さらにグループ一体となった安全対策について話し合われた。また、現在策定中の、新中期労働政策ビジョンにおける安全に資する政策のあり方の意見などを討議し、JRを代表する産別として、安全に対する取り組みを強化し、「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」をめざしていくものとした。そして、各エリア連合「安全ディスカッション」の日程や、本年10月には「JR連合第11回安全シンポジウム」を開催することなどを確認した。

JR西労組「事故を決して忘れず、安全を誓う集い」

同日午後からは、JR西労組主催の「事故を決して忘れず、安全を誓う集い」が開催された。冒頭、全体での黙祷が捧げられたのち、主催者代表のJR西労組荻山中央執行委員長からは、福知山線事故に対する弔意とお見舞いの言葉が述べられ、昨年初めて「4．25ネットワーク」に出席した際に、ご遺族の方から、労働組合は何をしてきたのかと問われたことや、昨年発生した「のぞみ34号台車亀裂事故」「JR西日本グループ鉄道安全考動計画２０２２」等の説明があった。その後、JR西労組安全アンケートの結果分析と今後の取り組みの報告があり、また、特別講演として、関西大学 安部教授より「JR西日本の安全性向上の課題」と題して、「安全に絶対はない」「安全対策のＰＤＣＡを回す」「計画を作って満足している」などの講演をいただき、多くの課題・取り組み方を学ぶことができた。そして最後に「集会アピール」を採択し、閉会となった。

私たちイーストユニオンは、「福知山線列車事故」と、同年に発生した「羽越本線列車事故」を決して忘れず、安全最優先の取り組みを実践し、次代への安全の継承を図っていかなければならない。

新たなジョブローテーション 働き甲斐の創出が基本！

本部は３月28日、「変革２０２７を踏まえた新たなジョブローテーションの実施」について、会社提案を受けた。

今回の提案趣旨について会社は、「今後、厳しい経営環境の変化に対応するためには、社員が多様な経験を積むことにより安全・サービスレベルを向上して行くことが求められる。そのために、駅から運転士までの一律的なキャリアステップを見直し、新たなジョブローテーションを実施する」としており、車掌・運転士試験を廃止し、異動については任用の基準に則り取り扱う、また、車掌及び運転士の職名を「乗務係」「乗務指導係」「乗務主任」「乗務主務」に統一することや、同一担務の従事期間が最長でも概ね10年を超えないように異動又は担務変更する、などとなっている。

安全とサービスの向上へ

一般的にジョブローテーションは人材育成のための制度ではあるが、メリットとデメリットがあると言われており、例えば、社員のモチベーションについても、向上させることも出来れば、逆に低下させてしまう場合もある。会社は「究極の安全」を追求し、会社を持続的に発展させていくためには、社員一人ひとりの成長が不可欠である。「新たな輸送サービスの価値の創造」を目指すものである、としている。個々の人材について適材適所に配置することができることや、より視野を広げ、最終的には専門性を磨き上げることができるといった利点の反面、年数をかけたキャリアップや、多くの経験値といったものが鉄道の安全に繋がっているといったことも捉えるべき視点のひとつである。「輸送サービスの価値」とは、その根底となる「安全」がなければならない。安全の確立のための人材育成に繋がる制度としていくことが鍵となっている。そのためにも働き甲斐の向上にむけたきめ細かな対応が求められることとなり、現場における管理マネジメントも重要となる。

私たちは『変革２０２７』の実現にむけて労使がしっかりと向き合い、到達点をめざしてするスタンスで、労働組合のあり方、発展的な労使関係の構築を成し遂げるための運動を展開していく。本提案についても、より実のある有益な施策としていくための議論を進めていくこととする。

変革２０２７を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について（提案）

１　新たなジョブローテーションの実施

多様な経験を積むことで安全・サービスレベルを向上させることを目的とし、これまでの駅、車掌、運転士の順に養成を行う体系を見直し、以下の通り柔軟な運用とする。

（1）車掌試験、運転士試験を廃止する。今後の乗務員への異動は任用の基準に則り取り扱うこととする。

（2）車掌を経ずに運転士になることを可能とする。

（3）車掌及び運転士の職名を「乗務係」「乗務指導係」「乗務主任」「乗務主務」に統一することとする。

（4）駅配属の中途採用社員が乗務員へ異動することを可能とする。

（5）同一担務の従事期間が最長でも概ね10年を超えないように異動又は担務変更することとする。

２　車掌試験、運転士試験の取扱い

車掌試験は2018年度（2019年3月実施済）、運転士試験は2019年度（2019年5月実施予定）をもって廃止する。なお、新幹線運転士試験は2018年度（2018年10月実施済）をもって廃止する。

３　ライフサイクルの深度化の見直し

現在のライフサイクルの深度化は2019年度の異動をもって廃止とし、今後は新たなジョブローテーションに組み込むこととする。なお、2020年4月1日時点で駅に在籍している社員については、従前の取扱いとする。

４　その他の取扱い

賃金制度の改正を行う。内容については、別途提示する。

５　実施期日

2020年4月1日

「ＪＲ私傷病共済」加入・増口の促進について

ＪＲ連合の互助制度。私傷病での欠勤による減収分のサポートなど。２０１９年度（８月）の新規加入、増口の取り組みを強化しています。一口４千円（二口まで）※詳細は担当まで

「田村まみ」さんを応援します！

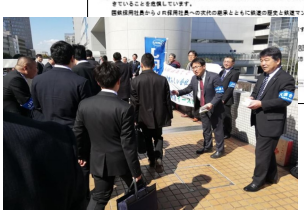
７月実施予定の参議院議員選挙の候補予定者、ＵＡゼンセン「田村まみ」氏の支持者カードを集約しています。田村氏には、私たちＪＲ連合の求める交通政策の具現化に向けた取り組みへの支持をいただいています。ぜひ多くの支援を集め、政策実現へ繋げていかなければなりません。皆さんのご協力をおねがいします！

（写真 第５回中央委員会にて）

4・1大宮行動 JR連合・JREユニオンをアピール！

４月１日、大宮で開催された入社式にあわせ、私たちジェイアール・イーストユニオンは駅頭でのアピール行動を行った。

当日は、ＪＲ連合とＪＲ東海ユニオンからは鎌田執行委員長をはじめとする役員・仲間の皆さんも応援に駆けつけてくれた。夢と希望を胸に来場する新入社員たちを、お祝いと歓迎の横断幕で出迎えるとともに、「私たちとともに、素晴らしいＪＲ東日本を創造していきましょう！」と声をかけながら、「ＪＲＥユニオンは、全国に８万３千名が結集するＪＲ連合に加盟しています。明るく働きがいのある職場づくりと、未来ある元気なＪＲ東日本を創造するため、みなさんの加入をお待ちしています！」とのメッセージを手渡した。（写真 ＪＲ連合FBより）



幹旋図書の紹介について

４月23日小学館より発刊された牧久著「暴君」～新左翼・松崎明に支配されたJR秘史～：国鉄民営化に「コペルニクス的転換」といわれる方針転換により全面的に協力し、JR発足後は組合にシンパを浸透させて巨大な影響力を持った男の評伝で、複雑怪奇な平成裏面史の封印を解く画期的ノンフィクション。多くの教訓となる本書。広く多くの方にお読み頂きたい書籍です。